学校番号	312

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	造形演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・身のまわりにある「もの」の機能性と造形美を観察し、美術と生活の関わりを知ろう
・計画的に制作し完成度の高い作品制作をめざそう
・素材や技法を工夫し様々な表現をしよう

2　学習の到達目標

・身近なものを丁寧に観察させて、機能や美しさに興味を持たせる
・伝統的な技法やデザインと現代的な感性の両方を意識させ、制作に取り入れさせる。
・制作レポート、鑑賞レポートを丁寧に記入し内容を充実させる。
・作品鑑賞を通して、他者や自己理解を深め、学びに向かう力、人間性等を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、作品に表している。	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	鑑賞	教科書等を鑑賞し多様な表現形式について学び学習イメージを持つ。レポート記入後、鑑賞内容を発表する。	a:美術作品への理解を深めている b:美術作品や文化に対する感じ方を深めている c:美術の表現に関心を持ち意欲を高めている	レポート・発表内容	レポート・発表内容	鑑賞・発表態度
	木彫皿とカトラリーの制作	【木工】 ・制作工程を理解し、アイデアを練る ・端材に試し彫りをし、道具の扱いに慣れる。素材と道具の特性を理解しお皿とカトラリーのデザインを決定する ・彫刻刀、やすりの扱いに慣れる、丁寧に手順をふんで成形する ・仕上げに天然オイルを塗りこむ。 ・制作レポート、鑑賞レポートを丁寧に記入する	c:学習内容に関心を持ち、テーマを基に自分を見つめて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:感性や想像力を働かせて、自分の考えや感じたことを主題に生成し、創造的な表現の構想を練っている。 a:意図に応じて材料の特性を生かし、表現方法を工夫している。主題を追求し表現しようとしている b:完成作品を客観的に見て丁寧な文章で表現できている。	テーマ設定と制作プラン 制作方法 完成作品 用具や素材の適切な使用	アイデアスケッチ、制作中の試行や工夫、レポート内容	制作態度準備、片付け、レポート内容
	夏休み鑑賞レポート	【鑑賞】 高校展またはその他の展覧会等を鑑賞しレポートを丁寧に書く	a:作品や技法に理解を深めている b:作品や作者の意図や工夫に感じ方を深め理解しようとしている c：作品や作者に関心を持ち意欲を高めている	レポート内容	レポート内容	レポート内容

2学期	染色技法によるランチョンマットの制作	【染色】ランチョンマットの制作 校内に自生している植物を使って伝統的な染の技法で染色する。 絞り染め・板締め染・たたき染などをおこなう。 媒染方法により仕上がりの色が異なることをしる ・コンクール展又はブロック展出品を目標に、丁寧な仕事をする。 ・授業日程に沿って、制作プランを考える ・中間考査までに、6割以上の完成度になるように制作をすすめる。 ・制作レポート、鑑賞レポートを丁寧に記入する	c:学習内容に関心を持ち、テーマを基に自分を見つめて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:感性や想像力を働かせて、自分の考えや感じたことを主題に生成し、創造的な表現の構想を練っている。 a:意図に応じて材料の特性を生かし、表現方法を工夫している。伝統技法を用いて自己の表現をしようとしている b:完成作品を客観的に見て丁寧な文章で表現できている。	制作方法 完成作品 用具や素材の適切な使用、	アイデアスケッチ、制作中の試行や工夫、レポート内容	制作態度 準備、片付け、レポート内容
3学期	自分応援ブックマーカー	【デザイン】 ・来年の4月からの自分を想像し新生活を送る自分を励ます言葉を考える ・制作工程を理解し文字をデザインする。 ・自分のイニシャルから発想し、架空の物語を創作する。 ・超現実的な場面を組み合わせて作画する。 ・実物のスケッチや図鑑等の資料から画面構成する。 ・制作レポート、鑑賞レポートを丁寧に書く。	a: 学習内容に関心を持ち、手順や材料の使用方法を理解している。 b:手順、材料の使用方法の確認ができており、言葉とその形に関心をもっている c:樹脂の特性を生かし薄さに気をつけて表現を工夫している c:表現方法を工夫し意欲的に取り組んでいる 完成作品を客観的に見て丁寧な文章で表現できている	制作方法 完成作品 用具や素材の適切な使用、	アイデアスケッチ、制作中の試行や工夫、レポート内容	制作態度 準備、片付け、レポート内容
	校内展レポート	・校内展を鑑賞し、 レポートを丁寧に書く。	a:作品や技法に理解を深めている。 b:作品や作者の意図や工夫に感じ方を深めている。 c:作品や作者に関心を持ち意欲を高めている。	レポート内容	レポート内容	レポート内容

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度